



熊本大学応援団 OB 会だより
(第2号)
第25回 (H29年度) OB 会特集
— 平成29年12月1日発行 —

会長挨拶

第7代 河村 久幸

29年度のOB会総会、懇親会にご参加いただきありがとうございました。今回はOB55名の参加であり、前回より減ったのは仕方ありませんが、例年並みの参加確保できました。これは11、12、13代の当番代の皆さんの頑張りであり、かつ昨年の50周年記念事業の中で示したOBの団結力が各OBの中に培われた成果だと思えます。

振り返りますと、昨年の50周年事業では4本の柱がありました。

①団旗・BLAZES旗の制作、②記念誌の発行、③記念演武会の開催、④記念祝賀会の開催でした。この諸行事が多くのOBのご協力で盛会裏に終わることが出来たことに改めて感謝申し上げます。また大学当局の強力なご支援もあったこともご報告させていただきます。

さて、今年の総会では、役員改選と新たなOB会活動についての提案、ご協議をさせていただきました。



1番目の役員改選ですが、任期は2年で今年は改選期であり、皆さんのご支持で更に2年間の会長を勤めさせていただくことになりました。これまで以上のご協力をお願いします。また、副会長以下の役員についても、ご承認をいただきありがとうございました。

2番目の新たなOB活動では、財政支援と活動支援を柱にしました。財政支援は、一年生入部時の経済的負担を軽減するため、その一部(ユニフォームなど)を支援することにしました。また活動支援はお金を出すだけでなく、活動が厳しい団長一人の実状を考慮して、一緒に応援活動を行っていくという趣旨であります。

具体的には、11/3の学園祭や11/5のホームカミングディにおいて、旗手や鼓手、あるいはバックとしてOB自らが活動を支援していきたいと考えています。これからも大学等の要望によって、入学式や卒業式での活動も考えています。是非とも活動支援ができるOBの方は手をあげていただきたいと思います。

これからもOB会活動にご理解とご協力をお願いして挨拶とさせていただきます。

ご支援ありがとうございました

第44代 主将(チアリーダー)一部部長 杉原あかり

先日は応援団OB会の開催、誠にありがとうございました。

参加した現役はOB・OGの先輩方と交流を持つことができ、とても有意義な時間となりました。現役の人数が例年よりも少なくなっている中で部員獲得に力を注いでいますが、自分たちの力だけでは至らないところもあり、今回いただいたような応援団OB・OGの先輩方からのご支援を嬉しい限りに思っています。本当にありがとうございます。

これからの応援団の発展のためにも、部員獲得は第一に達成すべき目標だと感じていますので、引き続き尽力したいと思います。

次の大会は12月の学生選手権大会で、準決勝進出を目標に日々練習を積んでいます。この大会で現在の3年生は引退となりますが、結果を残せるよう尽力致しますので、今後ともOB・OGの先輩方のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。



温かい励ましありがとうございました

第44代 団長 中村 あゆみ

OB総会では、今年もたくさんの方々とお話させていただき、熊大応援団への熱いお気持ちがひしひしと伝わってきました。同時に、自分より頑張らなくてはならないと改めて感じ、気持ちが引き締まりました。懇親会の最後に演武させていただきました巻頭言、五校寮歌では温かい声援、拍手をいただき、とても嬉しかったです。

また、現役へのご支援をいただき、とてもありがたく思っています。

これからも、このOB会を通してよりたくさんの方の方とお話させていただき、応援団活動の糧にしていきたいと思っています。リーダーもチアも人数の面では苦戦が続いて、厳しい状況にあります。しかし、この状況に屈することなく、お互いに協力しあいながらチア、リーダーで一丸となって盛り上げて参りたいと思います。今後とも熊本大学応援団をよろしくお願いたします。

今年のOB会に参加して

OB会の活動への提案、また欠席者へのメッセージなど貴重なご意見をいただきました。

OGチアの盛り上げりに期待！

第25代 北島 克尚



盛会となった50周年記念OB会から、はや1年が経ちました。以前は11月第一土曜日開催で、月初めの会議になることが多く参加できませんでしたが、50周年記念OB会には、日程上参加することができ、久々に参加しました。そして団長が、女性と聞き驚きました。

今回の参加では、また一つの驚きがありました。チアの1年生が、退部しマネージャー1人となったとのことでした。その退部の理由が、ユニフォーム代がかかるとのことと誠に残念です。そこで今回、新規にOB活動費が設けられることになり、財政支援の運びとなりましたが、まだ不足していると思います。案として、OGからのユニフォーム寄贈を募れないでしょうか？一度チア卒業生だけで、OG会を催す機会を設定してはいかがでしょうか？OGの参加を積極的に進めるために、2つに分けるわけではないのですが、現役のピンチを伝え集っていただければと思います。

最後に 中村団長！ 巻頭言に感動しました。25代の清水、松尾、満寿 また集まろうな！！先来年は、先に50歳になってしまうぞ。

幹事役お疲れ様、演武は練習不足？

第11代 岡本 久男

2017年のOB会に参加された皆様、お疲れ様でした。昨年の50周年のOB会では演武会も開催され、大変盛り上がりました。それから、あつという間の一年が過ぎました。

今回は、昨年よりOBの参加者も減少しましたが、現役の部員も大幅に減少しているのには驚きました。それでも、OBの皆様のサポートで今後も応援団を盛り上げていけるよう微力ながら協力していきたいです。また、11代、12代、13代が幹事ということで、特に13代の清水さんが中心となって頂き、色々とお世話になりました。

懇親会での演武（必勝の歌）の披露がありました。私自身のバックは駄目、中野さんが撮影されたビデオを見るのが恥ずかしいです。昔は、演武会で長時間でも腕を振り続けたことがウソのようです。やっぱり一生懸命練習していたのでしょうか。



OB会が終わると台風が接近中であり、翌日東京に帰れるかどうか心配でしたが、何とか無事に我が家にたどり着くことができました。

そして、東京では12月4日（土）に、第7回東京連合同窓会が開催されます。中村団長も熊本から参加する予定ですので、巻頭言、「武夫原頭に草萌えて」を熱唱したいと思います。最後になりますが、一日でも早い熊本の復興と皆様のご健勝を祈念いたします。

気軽に若い世代の参加できるように

第33代 安倍 昂洋



OGの皆様こんにちは。第33代でリーダー部に在籍しております安倍昂洋と申します。応援団が復活してからの2代目となります。応援団の活動をしていたのがつい先日のように思い出されるのですが、私ももう32歳…チアの後輩達の多くもすっかりママになり、時の流れを感じさせられます。

私が熊大に入学する前年に先代の梅木先輩が応援団を復活させると同時にチアリーダー部BLAZESも発足し、在学中は復活間もない応援団を何とか発展させようと努力してきました。しかし、なかなかリーダー部員が集まらずに上手くいかない部分も多く、卒業した今も応援団の活動が続いていることは嬉しい反面、最近ではチアの入部者も減少していると聞き、OBの一人として危惧しているところです。

さて、これを読まれている方には現役生や面識の無いOBの方もおられるかと思うので、簡単に自己紹介と近況報告をさせていただきます。熊大では工学部の知能生産システム工学科（現マテリアル工学科）を留年した後になんとか卒業し、航空大学校に進学しました。当時航大では第5代の犬童さんが監事をされており、こんなところで熊大の、しかも応援団OBの方にお世話になるとは思ってもいませんでした。

現在は大阪在住で、日本航空（JAL）子会社のJ-AIRにて Embraer170/190 という飛行機の副操縦士をしており、大阪・伊丹空港をベースに北は北海道の苫小牧空港から、南は鹿児島県の徳之島空港まで、国内線のフライトに従事しております。

OB 会には毎年参加させていただいていますが、若い世代、特にチアアの参加者が少ないのが寂しいところです。「総会」なんて言うのと堅苦しいですが、もっと気軽に、同窓会のように集まって懐かしい話が出来たらと思います。現役生と話が出来ると毎年楽しみにしていますし、OB として出来る協力はこれからも続けたいと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。

別れもあったが、OB 会の思い出は輝いている

19代 梶島 正利



OB 会から、3 週間が経過しました。今年で5年連続での参加となりました。実を言いますと、それ以前はあまり参加していませんでした。きっかけは、和田先生の追悼 OB 会です。参加しなければという思いからでした。19代は、木村、藤川が来ていたと記憶しています。まさかその時は、藤川君がその数年後に亡くなると思うはずもなく、近況報告などをしたものです。でも参加したおかげで再会できたことは大変良かったと思っています。その2年後のOB 会で会うのが最後になってしまったのですから…。残念です。

参加して毎回思うのは、先輩諸氏の元気の良さです。あのエネルギーが、この組織を存続させているんですね。毎回元気を分けてもらっています。

この度、OB 会の事務局を務めさせていただくことになりました。私の学生生活の全てであった応援団に、少しでも恩返しができるよう頑張っています。日頃、クタクタになって働いているみなさん、たまには旧交を温めてみるのも良いものですよ！きっと元気になります。脈絡の無い文章になってしまいましたが、次回OB 会でお会いできることを期待しています。

OB 会の新しい取り組みに期待します

第24代 牧野 健一

役員の方々、幹事（11、12、13代）の方々、OB 会の準備&開催、ご苦労様でした。50 名以上もの方が集まっているのを見て、皆さん、応援団が好きなんだなあ～と思いました。また、応援団だけでなく、チアリーダ一部も人員確保に苦労しているのを見て、体育会の部活動を継続させていく事の大変さを感じました。応援団も団長だけ

の状況の中、OB 会として金銭面の支援だけでなく、演武への参加支援など新たな取り組みを始めるのを聞いて、とても良いアイデアと感じました。行動を起こさないと、何も変わらないですから…。また、懇親会の最後に団長の力強い巻頭言を聞いて、僕自身、元気付けられ、胸が熱くなりました。

今回はうまくタイミングが合ったので、福岡に居る両親の様子見を兼ねて、参加させて頂きました。昨年、50 周年記念OB 会に参加した時は地震の爪痕も見られましたが、今年は熊本市内も大学も地震で傷んだ建物などの補修工事が始められており、復旧が進んでいて安心しました。

平成 29 年度 熊大応援団 OB 会を終えて・・・

第22代 中村 泰博

11月29日、台風22号（サオラー）が接近する中、心配された天気も若干の雨模様とはなりましたが、大荒れになることもなく今年もOB 会が盛大に開催されました。事前にご準備を頂いた先輩方と現役の皆様へ改めて感謝申し上げます。

昨年の50周年からあつという間の一年で、「勝利の拍手」の演舞と「第二学生歌」、「田原坂」の歌詞を必死で覚えたのが夢のような気分でしたが、今後、懇親会の中で各代のグループ毎に演舞を披露することとなり、柔軟やウォーキング、ジョギングなど最近運動不足の体に喝を入れなければと思った次第です。

楽しい一次会も、来年成人式を迎える「あゆみ」団長の気合の入った巻頭言でお開きとなり、その後は熊大の「もっこす」に移動。卒業して30年近く経ちますが、ママは当時とほとんど変わらず元気で、子(女)の刻過ぎまで話に花が咲きました。

子飼にあった居酒屋「とん八」が市役所付近に移動したとの情報を仕入れたので、久しぶりに実食したかったのですが、老体の眠気には敵わず敢え無く断念。来年11月3日までのお楽しみとなりました。

翌日は、同じ22代の松原と金峰山に登り、台風襲来の余波で山頂の風は強かったものの久しぶりの熊本の街並みを堪能し、帰りには上通りのラーメン「赤組」で昼食。その後、空港まで送りましたが、震災の影響がほとんど無く新たに生まれ変わった「阿蘇くまもと空港」に感動しました。熊本城や阿蘇神社、その他の被災を受けた地域の復興はまだまだ時間が掛かりそうですが、関係者の方々のご活躍をこの場をお借りしてお祈りいたします。

それでは、また来年のOB 会でお会いしましょう。

ノンアルコールでも満喫のOB 会

第24代 村上 俊樹

平成 29 年度 OB 会、お疲れ様でした。

まずは、初代の故副島先輩宅への弔問機会をいただき、ありがとうございました。副島先輩のご冥福を心からお祈り申し上げます。

さて、熊大応援団に入団した約30年前にタイムスリップして、先輩、同期、後輩と、当時の苦しい練習や楽しかった団活など懐かしい思い出を肴に、格別に美味しいノンアルコール（前日に急遽、尿路結石になり、かつて経験したことのない痛みを味わい、救急病院で3時間の点滴を受け、医者からアルコール厳禁命令が出ていました）を頂

き、楽しい時間を過ごさせていただきました。これで、元気をフル充電できたので、また1年間、現実と向き合っていけそうです。

二次会は申し訳ありませんが、現役時代にお世話になった「もっこす(黒髪5丁目の居酒屋)」に21代~25代のみんなと行き、潰れかけそうなお店の売り上げに協力でき、奥さんとも楽しく話げができました。また翌日は、恩師の家に挨拶に行き、元気な顔を見ることができ、本当に充実した満足の2日間でした。

次回は平成30年11月3日(土)開催とのこと、今からとても楽しみです。来年も必ず出席いたします。今年、所用で来られなかったOBが、たくさん来てくれることを祈念して、私の所感といたします。

最後に、HPの更新や郵便通知など世話役をしてくださった中野先輩を始め、今回、担当幹事をされた11、12、13代の先輩方、たいへんお疲れ様でした。 押忍!

OB会理事として

第20代 平原 一幸



この度の総会で理事に選任させていただきました20代の平原です。まさに自分の人生の転機となったこの応援団で、少しでもお役に立てればと思ひ、その任を引き受けさせていただきました。

今回のOB会でも話題になりましたが、現役団員の確保や応援活動の充実が急務であります。その状況の中で、OB会員が現役応援活動に参加するということは、たいへんすばらしいことだと感じています。昨年度の50周年記念演武会で、「まだできる」自分を発見し、少々調子に乗っているようですが、機会を見つけて積極的に参加を検討していきたいと思ひます。

一方、20代は、3年後、21・22代とともにOB会の幹事になります。そこを見据えて、再度各代の組織固めをすすめ、全員が集結できるような体制作りにも努めていきたいと考えています。

来年の参加をお待ちしています

第16代 渋谷 一雅

10月28日、熊大体育会応援団OB会に参加しました。

当日は、折悪しく雨模様。先行して午後2時に熊本市中央区メルパルクホテルに集合し、副島先輩のご自宅を弔問いたしました。再度、同ホテルに集合、午後6時よりOB会の受付が始まりました。今年度は役員改選期、総会では改選含め前年度決算報告および当年度の決算承認の議事が滞りなく進行・承認されました。また、18代天本さん、19代梶嶋さん、20代平原さん等新任若手理事も選任されました。



総会後の懇親会では、今年からOBによる盛り上げ企画を取り入れられ、13代清水先輩がリーダーとなって「必勝の唄」を他の11~13代OBの方々と披露されました。OB会は、大先輩との学生時代には絶対聞けなかったお話、大学とOBの連携にお力を注いでおられる先輩のお話等、豊富で幅広いお話ができるのも醍醐味であります。ご参加されなかったOBの皆様、来年(平成30年11月3日(土))にお待ちしておりますので、是非ご参加ください。

第25回 OB会を振り返って

第19代 木村 誠司

私は福岡に住んでいますが、新幹線を使えば30分で熊本に着きます。便利になっただけでなく7日前までに購入すると高速代と同じくらいに安くなります。また、自動車の相乗りなどするなど皆さんお誘いの上、熊本に集合しましょう。

今回のOB会の行事としては、(1)副島先輩の弔問、(2)OB総会で役員改選、(3)懇親会でした。

(1) 昨年の配布資料を見たところ、副島先輩からの葉書返信のお言葉がありました。「50周年行事の件では大変な時間と労力を使って頂き敬服しており感謝申し上げます。私は何ら役に立っておらず、更に当日も参加できそうにありません。誠に申し訳ありません。」

このような体調であったにもかかわらず、昨年の記念演武会にお越しいただいたこと大変よかったですと思ひました。皆の勇姿を見て絶対元気をもらったことと思ひます。

(2) 河村会長の牽引によりOB会の存在の意義を再確認しながら団結するとともに、19代の梶嶋さんが事務局長となりましたので、若手(?)の代が一層結束して盛り上げていきましょう。中野先輩からOB、OGへの熱心な連絡と通信状況を「みえる化」して報告していただきました。どのようにしたら、来られなかった方との縁を繋いでいけるか...を真剣に考えてくださっているか伝わりました。

(3) 44代団長2回生の中村さんの巻頭言、エールに感服しました。堂々たる姿でした。最近、壮行会や応援以外にも他県の熊大同窓会行事などにも要請を受けて出勤して活躍されているようでした。団員ひとりなので悩み相談する相手もないのではないかと、親のように心配してしまいました。チアOG、OBの方が一人でも多く参加していただける会になれば、更に進化した会になるように思ひます。

年齢差と今までの経緯で難しい事情はあるかと思ひますが、同窓会ののりでもよいかと思ひます。

(4) 最後に、今年参加できなかったOB・OGの方も来年11月3日参加できたらよいですね。仕事とか距離とか参加したくてもできない方もいつか状況が変われば参加できるようになることを祈ります。

楽しいひと時を共有できたOB会

第11、12代マネージャー 島子 志津子



今年のOB会は幹事ということでしたが、ただ楽しませて頂いただけで申し訳なく思っています。

50周年の時も思ったのですが、演武「必勝の歌」はカッコいいな!と思いました。平均年齢61歳であの演武ができるなんてステキです。特に清水さんと田中さんは、きれ、きれで最高でした。校内をいつもお手振り振り歩いていて田中さんを思い出しました。一部グダグダの人もいましたが(^_^)

懇親会では副島先生の奥様とお話してきました。40年前、教育実習に錦ヶ丘中にお世話になった時、副島先生に支えて、支えて頂いたことをお伝えすることができました。そして、久男さんや芦刈さんとインカレに行ったとか?行かないとか…、年を重ねたため、みんな記憶が曖昧で、なんかはっきりしないで大笑いしました。夫は五十嵐さんと初任者指導の話で盛り上がっていました。やっぱりいいな…楽しいなと思えた時間でした。皆さんホントにありがとうございます。

51年目へ

第8代 長谷 政晴

OB会当日は副島先輩のお宅に伺ってきました。仏壇に飾られた写真の副島先輩はいつものように「オイ、がんばれよ」とほまえておられました。OB会での奥様のお話では、50周年OB会が最後の外出になったとのこと、改めてOB会演武を見てもらえて良かったと感じました。向こうで和田先輩、原先輩、犬童先輩やその他のOB諸氏と酒を酌み交わしているのではと思います。

さて、今回のOB会は、やはり前回に比べると参加の人数が少なかったのは、止むをえないことだったかなと思います。しかし、50周年の記念演武会で演武をした充実感は参加したOB全員の胸に今も残っています。また『剛毅』50周年記念号発刊の取り組みで、どの代の応援団も真摯に精一杯、団の活動や応援に情熱を注いできたことを改めて思い起こすことができました。応援団の伝統が、ずっと続いてきたことを誇らしく思います。

今回51年目のOB会を開催する中で、新しい取り組みも始まりました。11代、12代、13代の皆さん、今回の担当幹事ご苦労様でした。

感謝です。必勝の歌、大いにOB会を盛り上げました。また多くのOBに運営費納入に協力して頂き、事務局としてもうれしい限りです。

今回も懐かしいOBの皆さんと楽しく過ごせました。遠方であったり、用事があったりでなかなか参加したくてもできないOBの皆さんも多いと思いますが、ぜひ次回は参加頂き、旧交を温めたいものです。しばらく参加ができていなくても、遠慮なく帰ってきてください。

ン十年前の話でも、互いの現況でも、語り出したら話はつきないと思います。また現役諸君も人数が少ない悩みを抱えながらも、本当に頑張っています。現役の声も聞きながら、OB会として現役支援の工夫もさらに考えていきたいものです。

OBの皆さんからの、ご意見もいろいろあったように思います。今後、事務局でも話し合っていきたいと思います。皆さん、次回OB会までお元気で。最後になりますが、中村団長の巻頭言はすばらしかった。参加した皆が何かを感じたと思います。

笑顔あふれる時間を過ごす

第33代 井手口 遙



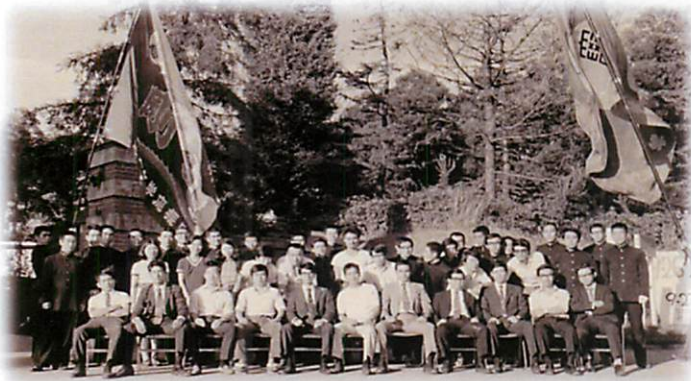
OB会参加させていただき、皆様に元気をもらった1日でした。個人的に仕事も忙しい時期であり、体調も悪い中でしたが、しばらく忘れてしまうような皆様の笑顔あふれる時間となりました。現役生には悩みも多く、私達の学生時代とは違う問題も多々あり、考えさせられました。それぞれに、熊大応援団を良くしていきたいという思いはありますが、それを発信する一番の場はやはりOB会となるのでしょうか。来年は更に多くの方々にお会いできるのを楽しみにしています。

2018年(平成30年)OB会の開催日
11月3日(土)にメルパルク熊本で開催します。
日程調整のうえ、多くのOBの方の参加をお願いします。(詳細な案内は後日)

⇒裏表紙8頁に続く

熊大応援団 OB 会 50 年の歩み

現役の団活動と同様に懐かしいOB会、時代とともに様変わりしました。ダイジェストで振り返ります。



↑ 1971年（昭和46年9月）に開催された第2回応援団OB会。今から、もう46年も前のことで、第6代の時代でした。旧団旗も、新しいまに風になびいているのが、時代の流れを感じさせます。



↑ 1984年（昭和59年9月）の第7回OB会。合同練習も楽しかった。立田山中腹の配水地前。体力で負けても口では負けないOBも多かったが、エイサーホイサーの掛け声が懐かしい。



↑ 1987年（昭和62年9月）の第8回OB会。ウサギ、アヒル、カメ、おんぶと続く練習。懇親会のため必死に汗をかく。一年生にとってはOBには絶対に負けられない。そうそうダッシュ〇本もあった。



↑ 1980年（昭和55年9月）第5回OB会。当時の日程は、現役との合同練習・演武会・総会・懇親会、翌日は武夫原でOB対現役のソフトボール大会が恒例でした。そして圧倒的にOBが強かった。



↑ 1989年（平成元年9月）、第24代幹部時の第9回OB会。懇親会の締めは、武夫原頭に草萌えて♪♪



↑ 1982年（昭和57年9月）の第6回OB会です。武夫原の濟々覺側にあったプレハブ部室前です。たしか懇親ソフトボール大会あとの集合写真です。まだOBも若く、多くの子供さんも参加していた。



↑ 1991年(平成3年9月)の第10回OB会。金守先生、田尻先輩の遺影と一緒に写真を撮る。



↑ 1993年(平成5年9月)の第28代による第11回OB会。実質的には休部前の最後のOB会となる。



↑ 2002年(平成14年)9月 体育会本部役員が応援団団長を兼務して、武夫原で久しぶりの合同練習となる。旧団旗が武夫原の風にはためいている。通算で第14回OB会となる。



↑ 2005年(平成17年)11月、第15回OB会…復活リーダー部の32代団長の梅木君らに演武指導を兼ねた練習会を行った。



↑ 2006年(平成18年)11月、第16回OB会。OB会場として「城の湯」を使っていた。総会で30人、懇親会で40人が集っていた。



↑ 2008年(平成20年)11月、第17回OB会。小体育室でチアリーダー部演武を観覧する。復活も軌道に乗ってきた。



↑ 2014年(平成26年)11月、第22回OB会。OB会とホームカミングディを合わせることで、現役の活動を見学できるようにした ↓
そして、2016年(平成28年)の熊大応援団創立50周年記念OB会につなげることが出来た。

第9代 戸上 勝喜



OB会も今回で24回を重ねるが、最初に参加したのは第3回だった。12月の演武会開催と、その翌日の10周年記念OB会…慌ただしかったという記憶がある。昭和49年の出来事である。S52年の第4回目からは、OBとして参加してきたが、それから既に40年が経過している。

今年、41年間、勤めた会社を卒業し新たな会社に勤務しているが、応援団の経験が会社生活の中で役立ったという気がしてならない。「何事にもガムシャラに、そしてバカになる」、「大人としての常識を持つ」、それが熊大応援団だ。

今回のOB会も愉快地に飲み、上通りでは武夫原を踊った。下通りはハロウインのさなかであり、我々の踊りは整然とし、周りの人に迷惑をかけていなかった。それが熊大応援団だ。

また今年の新入部員がゼロということだが、学生になぜ加入しないのか、どうしたら加入したくなるのか、ネット等によるアンケートを行ってみてはどうだろうか。また、入団条件をつけて、「熊大および熊大生の士気高揚ができる自信のある者を募集！」など、若者のプライドをくすぐることも一策と思う。

来年の11月3日に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

伝統が今も引き継がれているOB会

第21代 池田 章広



今年もOB会にお誘いいただき、ありがとうございました。いつも参加するばかりで申し訳ありません。昨年の50周年記念OB会に、10年ぶりくらいで出席したのですが、会場も随分と立派になり、整然と執り行われ、盛会となっていました。

初めてお話させていただく先輩の方もいましたが、皆さんそれぞれの思いで、頑張ってこられたのだと思い、勉強になりました。

近年は、団員が減少していて、傍目には大変と思うのですが、団長さんは肩肘張らない感じで、50年の伝統はそれとして、感心しました。翌日は立田山に行きました。いつも練習していた広場は草木が生い茂り、遠くに見える熊本城は改修中でしたが、雰囲気は残っていて、昔に引き戻される気持ちになりました。「熊大 ファイト」

還暦の「必勝の歌」

第13代 清水 豪



OB会当日、昼過ぎて雨になる。水道町で市電を降り、手取神社に盛会祈願の参拝をして、メルパルクへ。今回のOB会は、例年とはちょっと違った心構えでの参加である。11代～13代に幹事の役割があった。といっても、事前の準備はすべて中野先輩にやっていただいて、することといえば、当日の受付と懇親会の進行と場を盛り上げる「出し物」。その中でも心配なのは「出し物」だった。

事前に、幹事代の出席者と干や電話などで打合せて、演武「必勝の歌」に決めた。僭越ながら自分がリーダーを申出て、先輩方バックをお願いしたら、快く了解いただいた。

する以上は無様な姿は見せられないので、一週間、焼酎の晩酌後、HPの動画を見ながら練習をしてきた。発声練習は、一人カラオケでと考えていたけど、結局行く機会を失って、声に不安を残したまま本番を迎えてしまった。なにせ、リーダーもバックも当日顔合わせの一発勝負。どうなることかと思う中、案の定、声は裏返って伸びなかったけど、バックの皆さんの歌声にも支えられて、何とか無難にまとまったかな？と自己評価は合格点でミッションクリア。

出来栄はともかく、こうしていると、約40年の歳月が錯覚のような気がして、そういえば、走ったり、跳ねたり、振ったり、回したり、本当によくやったものだ。感慨と郷愁の数分間。

芦刈さん、五十嵐さん、岡本さん、島子さん、立邊君、田中君、それと受付を仕切ってくれたマネージャーのお二人 ありがとうございます。以下、追伸

後日、HPにアップされた動画を見て、自分のイメージと実際の動きのギャップに思わずエッ!?と行ってしまった。やっぱり40年の歳月は錯覚ではなかった。バックの皆さんもそれなりの動きとか体型で、改めて時の流れを実感でした。ただ、さすがに田中君、切れのある動きは現役の頃を彷彿とさせるものでした。



熊本大学応援団 OB 会だより
(第 2 号別冊)
第 25 回 (H29 年度) OB 会特集
— 平成 29 年 12 月 1 日発行 —

第 25 回 OB 会総会報告

10/28(土)にメルパルク熊本で標記総会が開催されましたので、報告します。なお、議案については全て承認されました。

議案 1 号 平成 28 年度事業・会計報告(H28.4～H29.3)

①事業報告

- ・H28.4.14 夜 熊本地震発生 ⇒4.1 未明 本震発生 ⇒OB 会延期
- ・H28.6.29 BLAZES 九州大会応援(OB 6 人参加:福岡国際センター)
- ・H28.10.29 50 周年記念演武会・総会・懇親会開催
⇒参加者 85 人、賛助 OB 約 80 人
- ・H29.3.11 九州応援推進ネットワーク演武会応援(OB6 人参加)

②会計報告

		費 目	決算
収 入		前年度繰入金	246,988
		懇親会会費	802,000
		OB 会運営費	180,640
		雑費収入	297
		計	1,229,925

		費 目	決算
支 出	祝 賀 会	会場費	0
		懇親会経費	482,880
		弁当・クリーニング代	32,133
		演武会体育館設営費	156,562
	運 営 費	現役活動費補助	196,162
		通信・連絡費	59,125
		事務経費	21,085
		慶弔費	2,964
		29 年度繰越	279,014
		計	1,229,925

議案 2 号 役員改選(H29.11～H31.10)

新役員は、下記のように決定しました。

- 会長 河村久幸
- 副会長 原田順一 長谷政晴 中野和夫 井手口遙
- 事務局長 梶島正利
- 会計 井手口遙(副会長兼務)
- 広報部長 中野和夫(副会長兼務)
- 理事 荒木富久雄 清水豪 渋谷一雅 天本真臣
平原一幸 秋田聖 安倍昂洋 山岸真美子
- 監事 古賀正博 南茂司

議案 3 号 平成 29 年度事業計画・予算(H29.4～H30.3)

①事業計画

- ・H29.5.27 幹事会①(第 24 回 OB 会に向けて素案検討)
- ・H29.6 月 団員募集立て看板制作・設置
- ・H29.6.30 故副島氏通夜、7/1 葬儀参列
- ・H29.7 月 OB 会案内送付
- ・H29.9.2 幹事会②(出席者状況確認、総会議案協議)
- ・H29.10.28 第 24 回 OB 会を開催する。
⇒参加 45 人、運営費 100 人
・幹事制で運営進行、財政支援と活動支援の取り入れ
・役員改選、次回開催日の決定

②予算

		費 目	予算
収 入		前年度から繰入	279,014
	開 催	懇親会会費	420,000
		OB 会運営費	240,000
		計	939,014

		費 目	予算
支 出	開 催 費	①会場費	20,000
		②懇親会経費	300,000
		③懇親会企画費	20,000
		④総会等連絡費	80,000
	運 営 費	⑤現役活動費補助	50,000
		⑥OB 会活動費(新規)	100,000
		⑦通信・連絡費	0
		⑧OB 会だより・事務費	40,000
		⑨慶弔費	50,000
		⑩予備費	279,014
	計	939,014	

議案 4 号 50 周年特別会計報告 (~H29.3)

		費 目	決算
収 入		積立金	990,000
		記念品・記念誌代	398,500
		送料収入	344,060
		計	1,732,560

支 出	費 目		決算
	団 旗	応援団団旗等制作	
記念品(日本手拭)			330,386
記 念 事 業	事務連絡費		376,051
	DVD・記念誌作成		585,182
	遠方役員交通費		66,011
	計		1,732,560

【 連絡協議事項 】

● OB 会連絡網について

慶弔時等における OB 連絡が複雑な現状があり、各代に連絡責任者を設けることによって円滑な連絡体制を構築する。

併せて、OB の所在や現状把握も推進していく。

● 新規事業への取り組み

応援団のチア、リーダー部ともに部員不足の現状を OB 会として支援をしていく。

チアについては、入部時の経済的な負担(ユニフォーム代等)の軽減を図るための支援(財政的)の予算措置をする。

リーダー部については、団長一人という状況では、部員勧誘や活動に支障があるため、旗手や太鼓、バック等の協力体制がとれる体制、予算措置をする。

【 現役活動報告 】

2016.10.29 熊本大学応援団創立 50 周年記念演武会

11.5 紫熊祭

11.12 ホームカミングデー

12.4 九州チアリーダーフェスティバル

(福岡国際センター)

12.11-12 全日本学生選手権大会(代々木体育館)

⇒準決勝進出

12.20 幹部交代(43 代⇒44 代)

2017.2.24-26 BLAZES 合宿(阿蘇青少年交流の家)

3.9 42 代追い出しコンパ

3.19 イオンモール宇城イベント

4.4 入学式

4.13 五大学総合体育大会壮行会

5.11 新入生歓迎コンパ

7.9 全日本学生選手権大会九州大会

(福岡国際センター)JAPAN CUP 出場権獲得ならず

9.27 熊本学園大学定期戦壮行会

9.30 同 開会式

10.28 第 24 回熊本応援団 OB 会

11.3 紫熊祭

11.4 工学部 120 周年記念事業

11.5 ホームカミングデー

(今後の予定)

12.9 九州チアリーディングフェスティバル

12.23 全日本学生選手権大会

(日本ガイシホール;名古屋)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

さまざまな声を活動に…

懇親会、応援団だよりへの意見について一緒に考えた

と思います。次回までには改善を図っていきます。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

●OB 会で熊本キャンパスに行くことがなかった。やはり熊本で総会等
は行いたい。

⇒今回は時間的余裕がなかったため、懇親会の前に同会場で総会も開催
しましたが、次回は全体日程の中で熊本キャンパスにも立ち寄る計画
も考慮します。なお、次回は、ホームカミングデーと同日開催になるかも
しれません。

●幹事制は良かった。特に幹事での演武も盛り上がりがあった。

⇒今回は演武でしたが、次回の幹事の企画に任せたいと思います。来
年の幹事の独自性に期待していただきます。

●現役支援が具体的にになってきたので、協力していきたい。

⇒団長一人の状況では、具体的活動を行うのは厳しいものです。少しで
も活動に協力して次の一手を考えたいと思います。

●新入生勧誘にもっと力を入れてもらいたい。

⇒応援団リーダー部の復活は OB 全員の思いですが、大学体育会活動
の一環としてとらえた場合、どこまで踏み込めるか難しい判断が必要です。
様々な OB の意見を聴取して方向を出していきたいと思います。

●総会とは別に、自由に今後の OB 会活動についてフリートーキング
の場があっても良い。

⇒過去の総会と比べると総会らしくなっていますが、確かに自由に意見
が言いづらい雰囲気にもなっています。堅苦しくない意見交換の場を考
えていきます。

●武夫原での練習を OB 会の中に入れて欲しい。

⇒武夫原練習、立田山中腹での発声練習等の思い出の場所での活動に
ついては、幹事と相談しながら検討をしていきます。

●チア OG の活動を盛んにするため、チア OG 会も考えたかどうか

⇒現在、役員の中にチア OG は 2 名います。OB 会への参加促進につい
ても独自の連絡網で努力してもらっています。役員会としてもそのサポ
ートをしていきます。また、チア OG からのダンスに眠ったユニフォームの提
供についても活動をしています。

●連絡網を整備しても、不参加の OB への参加を進めることは難しい。

⇒大学卒業後、OB 会とのかかわりが薄れてしまっている方、様々な理由
で疎遠になってしまっている方も 100 人程度おられます。役員会としては、
現在の OB 会活動を提供(名簿やこの広報誌)することで将来的に参加し
てもらえることを願っています。ただ、長年の会費未納の方にどう対応す
るか難しい課題と考えています。

編集後記 OB 会活動も 51 年目に入りました。現役の応援団活
が盛んであって欲しいというのが OB の総意ですので、その思い
をこれからの OB 会活動に反映できるように頑張っていきます。若
い OB も役員に取り入れ充実をしました。フレッシュな気持ちで
OB 活動を続けていきます。皆様のご協力をお願いします。

(HP 管理者:編集人 中野)